

卓上語彙

文壇の今日このごろ

から文藝爱好者に翁然として來りその事業を完成させ玉へと言つてゐる余に勿論この舉に賛成するたゞこれは勿論権利の爲めや賣名の目的でない事は確かだと思ふが希くば同社人が在留同胞十万を代表する『純文藝の確かりし單行本』を續々出して貰ひたいものである。今や在留同胞と言ふ一つの社會は溺死の状態に置かれてゐる内は同胞相互に一貫した思想が無い彼らは飢渴を絶かれた地上に群つてゐる種々な小鳥の林に風ひに傾けつてゐる彼らの背後に掛かる言ふ歎かが混じつて終つた。彼らはこの地に彼等の地上とす可く彼等の林に還る可く思ひに迷つてゐる彼ら間に彼らに代る同胞を各所に當がつてゐるのである。彼らは生れ故郷の林に還る可く四千哩の海上に船にて還かう。そして又久故郷は彼らの留守ゆきに不統一だ。利己的だ。的一だ。

▲彼らは或時は煽られて喜んだ。彼らを貽めてくれる白人をば骨を離待つた。彼らは喜ぶ時には一齊に喜ぶ人種だが憂ふ時は共に憂を煽つた。吾らの眼の前には日に「老農者死」者がその数を増して行く昔から支配されてゐる。自分に向かはれたる二つの統一の機械にならざるを得ない子女がだんづ殖むゆく。

今や在留同胞と言ふ一つの社會は溺死の状態に置かれてゐる内は同胞相互に一貫した思想が無い彼らは飢渴を絶かれた地上に群つてゐる種々な小鳥の林に風ひに傾けつてゐる彼らの背後に掛かる言ふ歎かが混じつて終つた。彼らはこの地に彼等の地上とす可く彼等の林に還る可く思ひに迷つてゐる彼ら間に彼らに代る同胞を各所に當がつて終つた。彼らは生れ故郷の林に還る可く四千哩の海上に船にて還かう。そして又久故郷は彼らの留守ゆきに不統一だ。利己的だ。的一だ。

▲彼らは或時は煽られて喜んだ。彼らを貽めてくれる白人をば骨を離待つた。彼らは喜ぶ時には一齊に喜ぶ人種だが憂ふ時は共に憂を煽つた。吾らの眼の前には日に「老農者死」者がその数を増して行く昔から支配されてゐる。自分に向かはれたる二つの統一の機械にならざるを得ない子女がだんづ殖むゆく。

伊勢田孤星君が結婚した當時の告白を前々の本欄に掲げたものは私信として筆者に送られたものであった當時余は移民に於ける結婚の裏面に流れているのがある文章の中に流れているので見て同氏の許可を得た事を遺憾に思ふそれは何よりも相あつての表現に依つて可なりならぬ感を受けたと言ふ事を知つたらだ。

△友へ
南郷へ
一人の男の魂が、狂亂と怕
の極點に燃ねた時、彼女の身
は生命を盡き戻さして、地上に
へられた。
何かしら驚いた衝動に、ハ
ミタ。振り返つた彼女の瞳に、たゞ
振り返つた彼女の瞳に、たゞ
といふ悔しさであつたであら
自分に向けられた二つの銃
其のもとにギラリと光れる男
両眼。

國の言ふ事は、君が歸つて居らるゝ間に、斯くて悲しき最後を遂げて永遠に此世を去られただのです。田園生活に慣れました。既に詳しく其模様も聞かれて、せうが全く可哀相のこの話題に入られた彼女の痛みが、白くなつておはじめました。たとえうが全く可哀相のこの最初の悲劇を持つた彼女は、云ふより外言葉ありません。田園にて於雲

赤き笑ひ 真秋
夜更くまで、結婚しなどして、
ひそかに贈れば、涙泣き渡る。
説し給ふ觀世はさつのおんせん。
われには悲七懸の痴人。

間の山



二月廿日 フォナタム
父 渡邊正親 母 渡邊チナ
妻本信 威本重 岡崎本重
野の良牧 キヤ

久藏平蔵改熊郎清三數チ郎馬人ク次郎平蔵改熊郎日申上可申上厚く

の今日このごろ

(二) 北野格闘場の九作と病める妻

三年の間は、至極無事で平穏が續つた。それは九作の仕事と妻の理解が融和して、彼も起らなかつたのである。それが昨年の秋葉煙草刈りの日、日一箱云ふやうな事が、多くなつた。

「アーヴィーが來て——あぶなった。彼女の魂は身をはなれて煙草ばかり、妻は氣色がすまぬつて顔が重い腹工合が悪い」と云ふやうな事が、日一日で

「アーヴィーが喉を出でん」と、時々ブドン彈丸は銃口を飛んでいた。無心に打ち振つた右の手に、ぱらと食ひ入つて貰いた。

「二番目のねらひは直ちに放された。

「アーヴィーが咽にまつる時、彼女の身體はドオツと後に打倒された。

「ヌル／＼しい血が打ち貫かれた頬と手の甲から流れて地に落ち、入つて行く。彼女の身体はドオツと後に打倒された。

「斯くて彼女正さんは死んでしまつた。

僕達があの結婚の神聖、神聖

二週間程前から近くの田舎にゐる醫者から診察して貰つた。薬など飲んでゐたが、一向何の効用もなかつた。九作も忙でなかなか過去院に入院する。そこには大根の収穫の秋は眼瞼に迫る頃だ。院へ入るまではおつし、體と云ふことをもつたし、にはある意味で、厄拂ひについたのであつた。

妻が青白い顔で、病院か自動車に乗る時、九作のじつと見た涙の目には感動した。今宵の心持です。

黄いろ大陸の中に東夷の此岸の心から立ちき得るのは、たゞ一緒に語り得るのみだ。

夏になつたら行くよ。故郷の様子を知らして呉れ此れで左様なら。

漂泊者のつぶやき

佐藤紫

主の歌者は柔い聲が運つて來た。
おさらい奉る
漂泊者の歌は、まだ胸の煙けで走る。生の歌は、
小鳥の聲がぶんぶんしてゐる。
何處へも行かなくなつた。(二・五作)

春の雑詠

春と云ふに友さへあらすむ
心さへ身さへうどまし俄然
しき吾と想ひ來つれば
歓樂の巷の隅にうづくもる
きむくろはあむ吾なりし。
々々ばかり薄く笑まへて脇
にひむわいしと抑へかねつ
思ひ貳みよ自業の眼をわざ
ればヒストープの烟ふ亦
けの猿に笑の溢るよ
牛乳押る若き女の薄いもの
れあり小牛立いぬ。

の書飯の苦難しき
柑橘のしたまる様、月光
ヨテ咲くなり盤に霜の夜
狂人の如く恩はゆ寒朝に
して解坐す吾を

This image shows a horizontal strip of Japanese text from a newspaper, likely a obituary section. The text is arranged in several columns, each containing a different announcement. The language is formal and uses traditional characters where applicable. The strip includes names, dates, and details about the deceased individuals.

御禮廣生常次太郎新竹由之信熊太常太川ゼ敬具以堂御下且拘は御際も際は御資源萬廣太七八郎次雄ギ雄御頂戴ははく儀御

古 告 郎 告
吉 案下且つこの秋
太正太太百 常由松藏
太郎小郎郎人郎郎藏三夫

本邦演説講習録

科 目

○青年雄辯家養成 ○ △卒業者による研究の癡情を説く
△雄辯家研究の癡情を説く

好機逸すべからず

本年度當地方のアスパラガスに來れ

諸君同胞の契約を歓迎此際早々御来村

外國人の契約盛んなれ吾人は

P. O. Box 148 Isleton, Cal.

同 タウン 家持一同

アーヴィング・タウン

日本青年通信社

米国取扱所

サンフランシスコガストン車

東京赤坂区丹後町四丁目

日本青年通信社

文部省

六月一日

日本青年通信社

流るゝ雲

寺澤琴風

新刊書

生田長江譯
室伏高信著
全譯資本論(第一分冊)
社会主義批判

植原悅一郎著
マックス學研究
社会改造の原理

内科産婦人科
櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.

小兒科耳鼻咽喉科

春田忠藏

内科産婦人科

櫻井菊三

ドクトル

耳鼻咽喉科

春田忠藏

外科皮膚科

黒澤格三郎

本日

1811 Pine St., S. F. Cal.